

基礎から学ぶ多文化共生と自治体、協会、住民の役割

1990年の「出入国管理及び難民認定法」の改正を契機に、日本に定住する外国人住民は急速に増加しました。2015年4月に同法の一部改正が施行され、より一層外国人住民が増加することが予想されます。

異なる文化を持つ人々が、互いの違いを認め合い、地域で共生していくためには、自治体職員や地域国際化協会及び市区町村国際交流協会等のスタッフ、地域の住民などが、様々な立場で多文化共生の地域づくりに積極的に関わっていくことが必要となります。

本研修は、多文化共生について考える入門編として、私たち一人ひとりが果たすべき役割について考えます。

研修のポイント

- ◆多文化共生に関する基礎知識を習得し、実現に向けて大切なことやさまざまな取り組みを学びます。
- ◆外国人住民の立場に立って、多文化共生施策において大切なことを考えます。
- ◆「ひょうたん島問題」ワークショップを通して、文化の違いから生じる社会問題を体感し、課題解決の方策を考えます。

開催要領

日程	平成28年5月19日(木)～5月20日(金) (2日間)
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・地域国際化協会及び市区町村国際交流協会のスタッフ ・自治体や地域国際化協会、市町村国際交流協会との協働実績のあるNPO・NGO職員 ・市区町村、都道府県等自治体職員 <p>2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※議員の方も参加可能ですが、本研修は実務者向けの内容となっておりますのでご注意ください。 また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。 なお、議員の方は、必ず議会議務局を通じてお申し込みください。</p>
募集人数	<p>30人</p> <p>募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。</p>
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません
経費	<p>7,300円</p> <p>上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。</p>
申込期限	平成28年4月7日(木)まで ※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応いたします。
申込方法	<p>JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。 議員の方は、議会議務局を通じてお申し込みください。</p> <p>「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。 ※FAXによる受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(http://www.jiam.jp/doc/)からもダウンロードできます。</p>
受講決定	<p>受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。</p>
事前課題	<p>研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。 詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。</p>

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

TEL 077-578-5932

FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp

[ホームページ] <http://www.jiam.jp>

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



5/19
(木曜日)

- 11:00～ **入寮受付・昼食**
- 12:20～ **開講・オリエンテーション**
- 12:50～15:45 **【講義】基礎から学ぶ多文化共生と自治体、協会の役割**
(特活)関西国際交流団体協議会 理事 **有田 典代** 氏
外国人受け入れの背景や政府の動き、日本で暮らす外国人の現状や課題を知り、多文化共生の地域づくりのためには何が必要なのか、先駆的な取り組みに学びながら、行政や協会の役割について考えます。
- 16:00～17:40 **【講義】外国人住民が直面する地域生活の課題**
特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 事務局長 **時光** 氏
多文化共生とは何でしょう。理念だけではなく、本当の意味で国籍や民族、文化、言葉などの違いを認め合い、支え合う社会を築いていくためには、社会的少数者の視点を持つことも大切です。
ご自身の経験も踏まえ、外国人住民の立場から、多文化共生施策のあり方や住民の役割等について、お話しいただきます。
- 18:00～ **交流会**
夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

5/20
(金曜日)

- 9:25～12:00 **【演習】みんなで考える多文化共生と私たちの役割(ワークショップ)**
同志社女子大学現代社会学部 教授 **藤原 孝章** 氏
架空の島を舞台とする「ひょうたん島問題」のワークショップを通して、多文化共生社会に生じる社会的課題を考えます。
ロールプレイを通して様々な立場を体験することで、より良い多文化共生社会をつくっていくための問題解決のあり方を考えます。
- 13:00～14:10 **【演習】みんなで考える多文化共生と私たちの役割(ふりかえりとまとめ)**
同志社女子大学現代社会学部 教授 **藤原 孝章** 氏
研修で学んだことや「ひょうたん島問題」のワークショップによる気付きを活かして、自治体、協会、住民それぞれが果たす役割についてグループで討議し、発表することにより全体で情報を共有します。
また、講師から2日間の研修をふりかえり、まとめのお話をさせていただきます。
- 14:10～14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。

なお、研修についての最新情報は、JIAM ホームページをご覧ください。

◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAM
メールマガジンの
お知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。
読者登録は、JIAM ホームページで受け付けています。